

平成29年度 学校教育自己診断（教職員）

- 1 よくあてはまる (4点)
- 2 ややあてはまる (3点)
- 3 あまりあてはまらない (2点)
- 4 まったくあてはまらない (1点)

質問項目	平均(4点満点)		順位	平均		回答数69人					0%	20%	40%	60%	80%	100%
	ポイント	%		H28	肯定的評価	1	2	3	4							
1 この学校の教育活動について、教職員で日常的によく話し合っている。	3.15	78.7%	8	3.05	80.9%	36.8%	44.1%	16.2%	2.9%							
2 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	2.73	68.3%	17	2.58	64.2%	11.9%	52.2%	32.8%	3.0%	11.9%						
3 学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いを把握し、よく応えている。	2.94	73.5%	14	2.80	74.6%	20.9%	53.7%	23.9%	1.5%	20.9%						
4 教員の間で、授業方法等について検討する機会を積極的に持っている。	2.66	66.4%	22	2.71	59.7%	14.9%	44.8%	31.3%	9.0%	14.9%						
5 指導内容について、他の教科と話し合う機会がよくある。	2.29	57.4%	30	2.32	38.2%	8.8%	29.4%	44.1%	17.6%	8.8%						
6 生徒の実態をふまえ、参加体験型の学習を行うなど、指導方法の工夫・改善を行っている。	3.03	75.7%	12	2.95	83.6%	19.4%	64.2%	16.4%	0.0%	19.4%						
7 この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	2.78	69.4%	16	2.69	68.7%	13.4%	55.2%	26.9%	4.5%	13.4%						
8 生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている。	3.19	79.8%	6	3.21	75.0%	45.6%	29.4%	23.5%	1.5%	45.6%						
9 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる。	3.18	79.5%	7	2.98	88.1%	31.3%	56.7%	10.4%	1.5%	31.3%						
10 いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	3.27	81.7%	3	—	88.1%	38.8%	49.3%	11.9%	0.0%	38.8%						
11 校則が、生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるかについて、生徒や教職員の間で話し合う機会がある。	2.69	67.3%	19	2.35	61.8%	16.2%	45.6%	29.4%	8.8%	16.2%						
12 この学校では、生徒が望ましい勤労観・職業観を持つことができるよう、系統的なキャリア教育を行っている。	3.23	80.8%	4	3.06	88.4%	36.2%	52.2%	10.1%	1.4%	36.2%						
13 生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい情報提供を行っている。	3.06	76.5%	11	2.92	77.6%	28.4%	49.3%	22.4%	0.0%	28.4%						
14 学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行っている。	3.07	76.8%	10	3.12	79.7%	27.5%	52.2%	20.3%	0.0%	27.5%						
15 生徒会活動を通じて、生徒が民主的な手続きを経て、主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	2.68	66.9%	21	2.60	54.4%	16.2%	38.2%	42.6%	2.9%	16.2%						
16 学校として、在籍している外国から来た生徒に対し教育委員会事業や学校独自の取り組み等で支援する体制がある。	2.70	67.4%	18	2.73	58.0%	20.3%	37.7%	33.3%	8.7%	20.3%						
17 体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢にもとづいた生徒指導が行われている。	2.97	74.3%	13	2.88	75.0%	26.5%	48.5%	20.6%	4.4%	26.5%						
18 校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている。	2.63	65.8%	24	2.65	52.9%	20.6%	32.4%	36.8%	10.3%	20.6%						
19 学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。	2.31	57.7%	29	2.54	42.6%	8.8%	33.8%	36.8%	20.6%	8.8%						
20 学校運営に教職員の意見が反映されている。	2.23	55.8%	32	2.39	36.2%	2.9%	33.3%	47.8%	15.9%	2.9%						
21 教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	2.22	55.5%	33	2.32	39.7%	4.4%	35.3%	38.2%	22.1%	4.4%						
22 職員会議をはじめ各種会議が、情報交換と課題検討の場として有効に機能している。	2.41	60.3%	28	2.47	50.0%	2.9%	47.1%	38.2%	11.8%	2.9%						
23 教職員間の相互理解が十分になされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	2.64	66.0%	23	2.59	61.2%	10.4%	50.7%	31.3%	7.5%	10.4%						
24 日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができています。	2.68	66.9%	20	2.70	64.7%	14.7%	50.0%	23.5%	11.8%	14.7%						
25 この職場においては教職員の服務規律への自覚が高い。	2.51	62.7%	27	2.56	55.2%	9.0%	46.3%	31.3%	13.4%	9.0%						
26 校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている。	2.62	65.4%	25	2.77	57.4%	11.8%	45.6%	35.3%	7.4%	11.8%						
27 校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。	2.61	65.3%	26	2.68	58.2%	13.4%	44.8%	31.3%	10.4%	13.4%						
28 この学校では、府教育センター等が主催する研修に計画的に参加する体制が整っている。	2.28	57.1%	31	2.58	40.3%	7.5%	32.8%	40.3%	19.4%	7.5%						
29 デュアルシステムなど、地域連携を教育活動に生かしている。	3.33	83.3%	2	3.36	88.4%	44.9%	43.5%	11.6%	0.0%	44.9%						
30 デュアルシステムをはじめ、教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	3.35	83.7%	1	3.20	89.9%	44.9%	44.9%	10.1%	0.0%	44.9%						
31 エンパワメントスクールの教育活動に必要な情報について、地域への周知に努めている。	3.21	80.1%	5	—	89.7%	32.4%	57.4%	8.8%	1.5%	32.4%						
32 情報提供の手段として、学校のホームページやメール登録システムが活用されている。	3.12	77.9%	9	3.11	79.7%	34.8%	44.9%	17.4%	2.9%	34.8%						
33 学校は、教職員と保護者や地域の人々などが接する機会を設けている。	2.84	71.0%	15	2.79	69.6%	17.4%	52.2%	27.5%	2.9%	17.4%						